

皆さんこんにちは。今日はお客様としまして、西宮RC会長 竹内 修様、西宮夙川RC会長 贅田 肇様、阪神第2グループIM実行委員長 長谷川 純一様、阪神第2グループIM実行副委員長 今西 永兒様、会長ゲスト 勝 愛子様、卓話ゲストとして三瀬 麻起子様、ようこそお越しいただきました。ごゆっくりとお過ごしください。

早いもので今年最後の例会です。次回は1月11日(金)西宮4ロータリークラブ新年合同例会ですので宜しくお願い致します。

今日はプロイセンから伝えられた「人材登用方針」の話をします。

10月19日西宮ロータリー4クラブ会長の食事会がありました。

雑談で、山本七平氏の著書に、日本陸軍がプロイセンから伝えられた人材登用方針が書かれていたことが話題になりました。その際、西宮クラブの竹内会長からプロイセン陸軍のメッケル少佐が日本陸軍に伝え、山本七平が引用したとの話を伺いました。

私から改めて、その出典を詳しく教えてほしいとお願いしましたところ、御返事をいただきました。

ネットで探すと「モルトケの法則」と言われているようです。

モルトケはプロイセンの宰相ビスマルクの次代にプロイセン陸軍参謀総長でした。

メッケル少佐はモルトケの愛弟子で、プロイセンから日本陸軍に派遣されていた参謀でした。山本七平氏は日本陸軍史を研究中、メッケル少佐の文章を知ったのだと思います。

その方針とは、

- ① やる気なし 能力あり
- ② やる気なし 能力なし
- ③ やる気あり 能力あり
- ④ やる気あり 能力なし

帝京平成大学「磯部教授」のマルチエージェントシミュレーションによる「モルトケの法則」の有効性検証の2017年全国研究発表によりますと、“モルトケは組織に望ましい人材は「やる気のない、能力の高い人材」とした。その理由は、「やる気がある、能力の高い人材」は自発的に課題や問題を考え、解決に向かって行動するので、上位者の指揮命令が有効に実施されないためとした。これを通称「モルトケの法則」という。”とあります。

この解釈はいろいろ考えられています。皆さん如何考えられますか？私はいずれにしろ含蓄の深い基準だと考えています。

* 西宮ロータリークラブ 竹内修会長から引用しました。